

ローカル指標ってなあに？



# 静岡のローカル指標をつくろう

## ～SDGsを考える。その5～

私は何ができるかな？



**日時** 令和2年10月10日(土) 13:30 ~ 16:30

**場所** 静岡市番町市民活動センター 大会議室 **定員** 30名 **参加費** 無料 **資料代** 200円

**講師** 長谷川 雅子さん（一般財団法人CSOネットワーク） 塩原 太一郎さん（スマートブルー代表）

**進行** 木下 聰さん（しづおかSDGsネットワーク代表）

SDGsは持続可能な地球を目指すものです。

今までのやり方を続けていたら、環境も、経済的にも、そして、人と人の繋り成す社会も、ギクシャクしてしまい、「地球が続かない！」

「取り残される人が増えていってしまう！」という危機感から生まれたものです。

「誰ひとり取り残さない社会のために行動を変えていこう！」という目標です。

では、自分はどうしよう？と「自分ごと」にとらえて考えてみませんか。

“グローバル”なことではなく、足元の“ローカル”に引きつけて私たちが何ができるか考えてみましょう



講師  
プロフィール



**長谷川 雅子さん**  
一般財団法人CSOネットワーク  
事務局長・理事

公正で持続可能な社会の実現を目指し、調査や情報発信等を行うCSOネットワークにて、持続可能な地域づくり、公共調達に関する調査に関わる。地域ワークショップやSDGsをテーマにしたセミナー等で、参加型・循環型の地域づくりに向けた情報発信を行なっている。横浜市立大学非常勤講師。国際公共政策博士。



**塩原 太一郎さん**  
スマートブルー代表

2010年スマートブルーを設立。営農型発電の普及、事業所の省エネ化、災害対策を中心に太陽光発電や蓄電池の販売・施工を行っている。企業理念は「持続可能性の追求」。規模や売上の拡大よりも持続可能性を重視している。持続可能なスマートブルーの姿が、地方創生のソリューションとしても活きていく。そんなビジョンを持ってSDGsの考え方を広めるチャレンジを続けている。

SDGsは掲げから5年が経過し、目標年の2030年まであと10年です。

今年は「行動の10年」という言葉をよく聞くようになりました。そこで、静岡での行動を推進するために、静岡独自にSDGsを掲げたローカル指標づくりにみなさんと取り組みたいと思います。

今回の「SDGsを考える、その5」をキックオフとして、定期的にワークショップを開いています。

多くの皆さんにご参加いただき、持続可能な静岡とはどんなものかを考え、想いを共有しながら、静岡のローカル指標をみんなでつくっていきたいと思っています。



**木下 聰さん**  
しづおかSDGsネットワーク代表

一般企業の営業職を5年間経験した後、退職して青年海外協力隊に参加しモンゴルで環境教育隊員として2年間活動。帰国後AAR Japan難民を助ける会に入職し、ミャンマー担当や企業連携の担当を務める。2018年7月に退職して以降はフリーランスファンドレイザーとして静岡市にてSDGsの勉強会、普及活動などを行なっている。

つくりあげたローカル指標の発表会を2月20日に開催します